



1. 田中恭吉 《飛び去る前》 1914年 インク・彩色、紙

コレクション展 2022ー春夏

特集：生誕130年 田中恭吉

2022年4月29日（金・祝）ー7月3日（日）

プレスリリースお問い合わせ先

和歌山県立近代美術館
学芸担当：井上芳子
広報担当：村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14
TEL: 073-436-8690 FAX: 073-436-1337
E-MAIL: press@momaw.jp WEB: <https://www.momaw.jp>

コレクション展 2022 一春夏

特集 生誕130年 田中恭吉

2022年4月29日（金・祝）－7月3日（日）

1963年に和歌山城内で開館した和歌山県立美術館を前身とする当館は、日本で5番目となる国公立の近代美術館として、1970年11月、県民文化会館の1階に開館しました。そこで23年あまり活動したのち1994年に現在の建物（設計：黒川紀章）へと移転し、展示収蔵環境を拡充させミュージアムとしての活動を続けています。和歌山ゆかりの作家についての展覧会と作品収集を中心に、現在はその範囲を国外にまで広げ、日本画、洋画、彫刻、版画など、総数1万点を超える作品を収蔵するに至っています。

コレクション展では、所蔵品を通じて幅広い美術の表現に接していただけるよう、季節ごとに展示を替え、さまざまな特集コーナーを設けながら作品の紹介を続けています。明治期から現代にいたる、それぞれの時代精神を反映する作品の数々をお楽しみください。

また特集では、生誕130年となる田中恭吉の作品を展示します。1892年和歌山市に生まれ、東京美術学校（現在の東京藝術大学）に入学して美術の道を歩み始め、恩地孝四郎や竹久夢二と交流して独自のペン画などに才能を発揮しはじめます。しかし、まもなく宿痾となる肺結核を発病。自らの死を悟りながら、ふるえるような感情を木版画やペンで表現しました。1915年、わずか23歳で夭折しますが、その遺作が萩原朔太郎の詩集『月に吠える』の挿画として収録されたことで今も注目されています。当館には田中恭吉の初期から晩年までの代表作をはじめ、スケッチや書簡、詩歌原稿等の資料もふくめ約1000点が収蔵されていますが、今回はその創作のプロセスやイメージの展開を辿れるような約80点を紹介します。



2. 田中恭吉 《少女》1914年
インク、紙



3. 田中恭吉 《冬虫夏草》1914年 木版、紙



4. 田中恭吉 《バラの刺》1914年
油彩、キャンバス

掲載用画像に
ついては広報担当に
お問合せ下さい。
※所蔵元の表記がないものは
すべて当館蔵です。
※文字のせ、トリミング等は
ご遠慮ください。

※1-7は特集 生誕130年
田中恭吉出品作品



5. 田中恭吉 《病める自画像》1914年 インク、紙



6. 田中恭吉 《絢はれゆく歓喜と悲哀》
1915年 インク、紙



7. 田中恭吉 《こもるみのむし》1915年
インク、紙

開催概要

- 主催 和歌山県立近代美術館
会場 和歌山県立近代美術館 1階展示室
会期 2022年4月29日(金・祝)－7月3日(日)
開館時間 9時30分－17時(入場は16時30分まで)
休館日 月曜日
観覧料 一般350(270)円、大学生240(180)円 ()内は20名以上の団体料金
*高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料
*5月28日、6月25日(毎月第4土曜日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料
*5月1日、6月5日、7月3日(毎月第1日曜日)は全館無料



8. 佐伯祐三《レ・ジュ・ド・ノエル》1925年
油彩、キャンバス

関連事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容の変更、事業の中止を行う場合があります。変更があった場合は、美術館のウェブサイトでお知らせします。

▶フロアレクチャー(学芸員による展示解説)

日時：4月29日(金・祝)、6月12日(日)

各日14時から1時間程度、展示室にて *要観覧券



9. 田中恭吉《和歌山風景》
1914年頃 インク・彩色、紙



10. 田中恭吉《和歌山城 不明門付近》
1914年頃 インク・彩色、紙



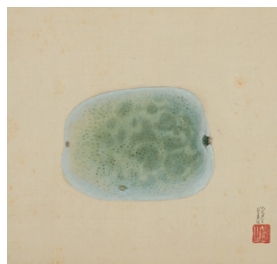
11. 建畠大夢《おゆのかれ》
1913年 ブロンズ



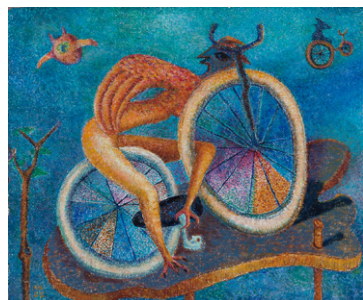
12. 岸田劉生《黒き帽子の自画像》
1914年 油彩、板 個人蔵



14. 川端龍子《草》大正時代
顔料、金泥、絹



13. 岸田劉生《瓜之絵》1925年
顔料、絹 個人蔵



15. 瑛九《自転車》1956年 油彩、キャンバス



16. 池田満寿夫《たいくつな時間》1955年 油彩、キャンバス
広島市現代美術館蔵



17. ルー・ジョルジュ
《サーカスの娘》1937年
油彩、キャンバス

※8-17はコレクション展 2022-春夏出品作品

同時期に開催の展覧会

▶モダン・プリンツ コレクションにみる世界の版画

会期：4月9日(土)－6月26日(日)

▶(県立博物館(と)なり)の展覧会

特別展「きのくにの大般若経－わざわいはらう経典－」

会期：4月23日(土)－6月5日(日)

企画展「幕末から明治のきのくに文人画－偉大なる師野呂介石を慕いて－」

会期：6月11日(土)－7月10日(日)